

## 「アイデアのひろば」の拡大について（温水プール・アイススケート場）

これまでの委員会の議論の中で、「博覧会の理念と成果を継承するエリアを温水プール・アイススケート場の区域まで拡大してはどうか」という意見をいただいております。

温水プール・アイススケート場については、博覧会においてグローバルハウスとして使用するため、平成14年4月から使用を休止しておりましたが、閉園前の利用状況、県内の代替施設の状況、再開要望などを考慮し、引き続き、温水プール・スケート場として再開いたします。

### 1. 温水プールについて

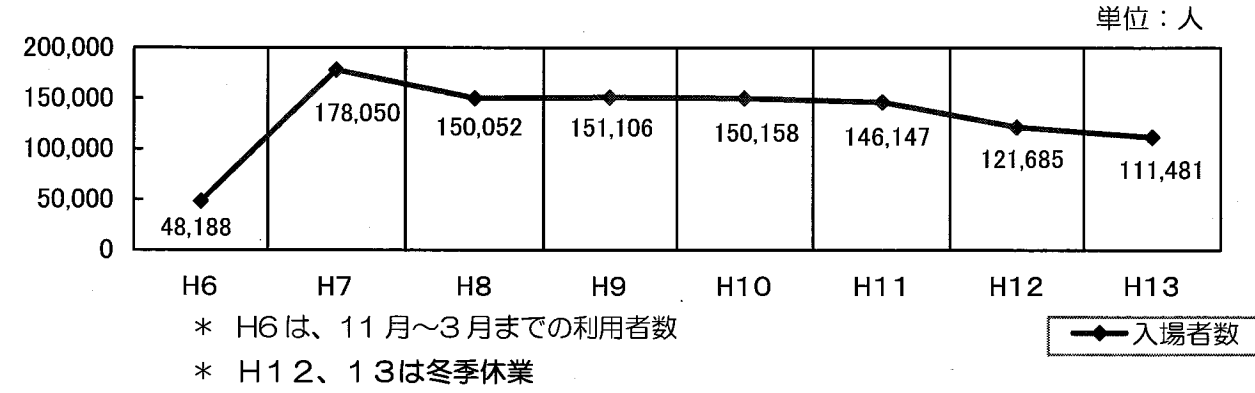
#### (1) 施設概要

- ① 平成6年11月22日から供用開始
- ② 流水・造波・25m・ちびっ子・冒険の各プールに加え、スライダー、ジャグジー等の遊具もある屋内レジャー型施設
- ③ 床面積5,443㎡
- ④ 冬期（10月～2月）は休業

#### (2) 必要性

- ① 年間10万人以上に利用され、公園内で最も利用者数の多い施設であった。 表 1.2
- ② 公園周辺地域に代替となるレジャー性の高い室内プールがない。 表 3

**表 1:** 閉園前のプール利用者数



**表 2:** 青少年公園のレジャー施設、運動施設の年間利用状況

年度	温水プール	スケート	野球場	サッカー場	テニスコート	陸上競技場	体育館	サイクリングロード
H9年度	151,106	95,161	56,030	19,490	24,247	53,975	59,717	57,328
H10年度	150,158	96,739	44,541	23,970	21,143	48,170	55,851	58,214
H11年度	146,147	110,488	42,488	15,892	21,803	48,612	54,530	58,579
H12年度	121,685	103,382	49,375	14,131	16,994	41,114	46,295	47,887
H13年度	111,481	94,468	54,470	15,966	19,376	37,708	36,370	56,375

**表 3:** 県内の温水プールの状況

〈10km圏内の温水プール〉

名称	場所	コース概要
名東スポーツセンター	名東区	25m×6J-入、学童用25m×1J-入、幼児用50㎡
天白スポーツセンター	天白区	25m×6J-入、幼児用10m×5m
愛知県口論義運動公園	日進市	50m×8J-入、25m×5J-入

\* 3施設（すべて公共施設）…いずれも競泳が目的でレジャーが主体でない。

〈県内のスライダー、流水などレジャーが主体の屋内温水プール〉

名称	場所	コース概要
小牧温水プール	小牧市	造波、流水、スライダー、ちびっこプール等
ARCO清須	清須市	造波、流水、幼児用、ジャグジー等
祖父江町温水プール	稲沢市	クアプール、スライダー、幼児用、児童用等
飛島村温水プール	飛島村	流水、スライダー、ジャグジー、幼児用、児童用等
安城市レジャープール	安城市	流水、造波、スライダー、幼児用等
半田福祉ふれあいプール	半田市	流水、スライダー、幼児用、児童用

\* 6施設（すべて公共施設）…最も近い施設小牧温水プールで約18km。

### 2. アイススケート場について

#### (1) 施設概要

- ① 平成6年11月22日から供用開始
- ② アイスホッケーの国際規格に適合する内リック(60×30m)と外周リック(幅6～7.5m 周長200m)を合わせた複合リンク
- ③ 公共施設としては、中部地方唯一の通年営業施設
- ④ スケートリンク周りに観戦用スタンド1,107席を設け、ホッケーなどの観戦試合も可能
- ⑤ 床面積6,785㎡

#### (2) 必要性

- ① コンスタントに年間10万人程度の利用者があり、よく利用されていた施設であった。 表 4
- ② 通年営業のスケート場は、県内でこの他に2箇所のみで、スケート競技者の練習場所として重要性が高く、スケート王国愛知を支える施設である。 表 5.6
- ③ 博覧会開催前の平成11年9月に、県スケート連盟等から、代替施設確保と早期再開を願う、2万人余りの請願書が提出されており、現在も施設再開の要望が高い。 表 7

**表 4:** 閉園前のスケートリンク利用者数

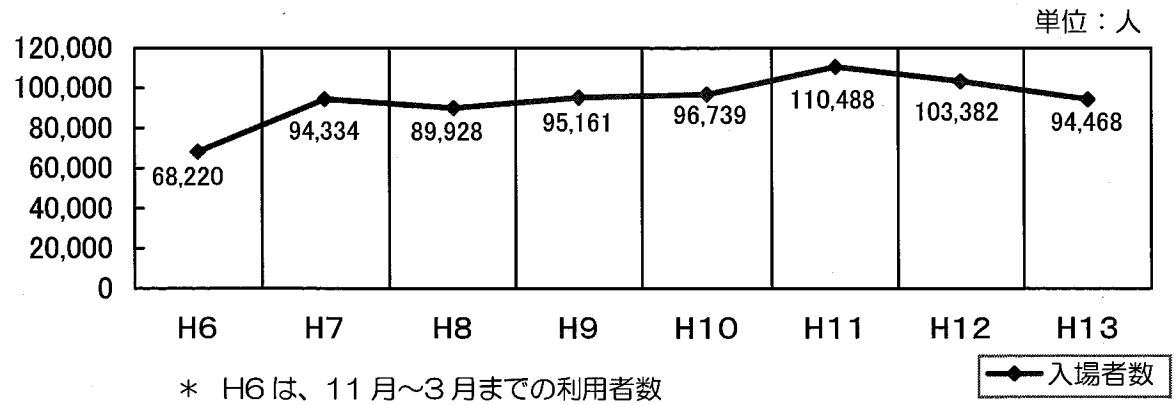


表 5: 県内スケート場の状況

〈通年営業〉

営業主体	名称	場所	規模	営業期間
民間	名古屋スポーツセンター	中区	56m×26m (屋内)	通年営業
	邦和スポーツランド	港区	60m×30m (屋内)	通年営業 (月曜は団体専用)

〈冬期のみ営業〉

営業主体	名称	場所	規模	営業期間
公共	名古屋市総合体育館	南区	60m×30m (屋内)	11月～3月営業
民間	一宮スポーツ文化センター	一宮市	40m×20m (屋内)	10月～3月営業
	あさひが丘スケートリンク	幡豆町	50m×26m (屋外)	12/10～2/26 営業

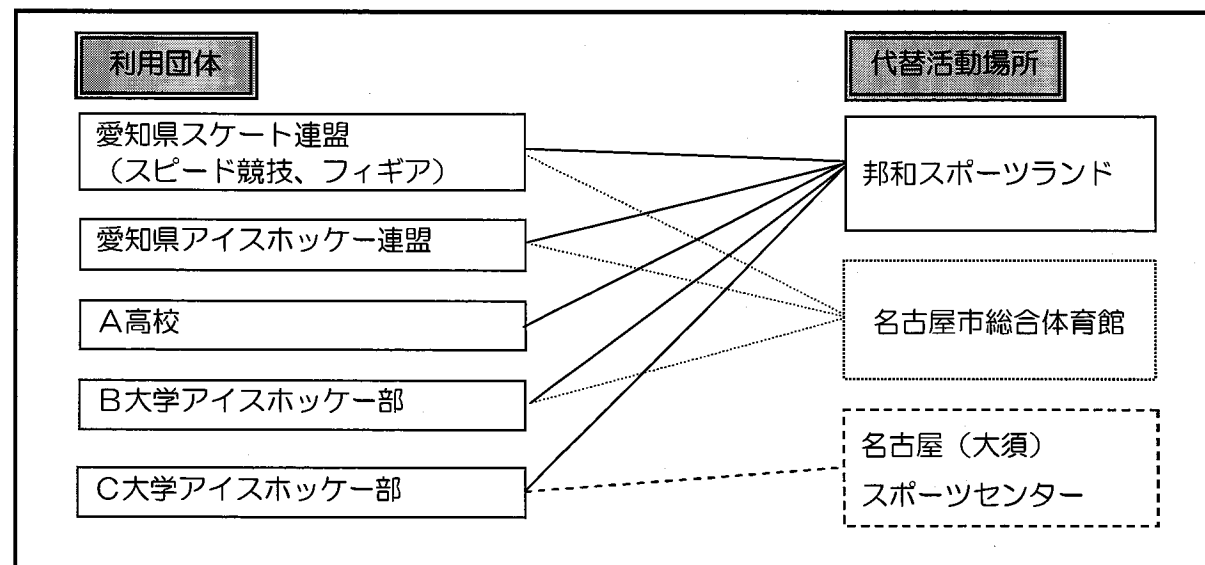
表 6: 団体貸出による使用状況 (平成13年度実績)

項目	説明
貸出時間	早朝 7:30～9:30、夜間 19:00～22:00
年間稼働率	平日 92% (使用日数 200 日 / 貸出日数 217 日) 休日 99% (使用日数 113 日 / 貸出日数 114 日)
使用団体	県内の各種スケート連盟、県内外の高校・大学、民間クラブなど 総申込件数 775 件
使用目的	スピードスケート等 284 件、フィギアスケート 259 件、アイスホッケー 217 件 カーリング 15 件

表 7: 再開要望

県スケート連盟、県アイスホッケー連盟に博覧会後の利用について、ヒアリングしたところ、通年で利用できる練習場が2箇所しかなく、青少年公園のスケート場が再開された場合、早期に使用したい旨回答があった。

【閉園前に青少年公園アイススケート場を利用していたおもな団体の代替の活動場所】



### 3. プールとスケート場の一体的な運用について

- ・スケート場の製氷及びプールの昇温を同一のガスエンジンによる熱交換システムにより行っているため、一体的な運用が効率的である。
- ・仕組みとしては、ガスエンジン冷凍機を動かすことによって、ブラウン溶液を冷やし、その溶液を循環させて、アイススケート場のリンクを冷却させている。その時発生するガスエンジン冷凍機の熱を排ガス熱交換器を通して水を温め、温度の違う2種類の温水をつくり、同じく循環させてプール水を温めたり、給湯などに利用している。
- ・その他にも別に、真空温水機や、電動冷凍機を備え、熱交換システムを補うことができるようになっている。

【システム運用図】

